

新規事業採択時評価結果（平成20年度新規事業化箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：下保 修

事業の概要

事業名	一般国道354号 玉村～伊勢崎バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	群馬県
起終点	自：群馬県佐波郡玉村町福島 至：群馬県伊勢崎市田中町	延長	3.0 km		
<p>事業概要</p> <p>一般国道354号は群馬県高崎市を起点として茨城県銚田市に至る214kmの幹線道路であり、群馬県内においても県内の主要都市を結ぶ重要な幹線道路となっている。本県では、高崎市から邑楽郡板倉町を結ぶ、延長58.6kmを東毛広域幹線道路として整備推進中である。</p> <p>玉村～伊勢崎バイパスは、東毛広域幹線道路の一部として、延長3.0kmをバイパス整備するものである。</p> <p>事業の目的、必要性</p> <p>玉村～伊勢崎バイパスは、東毛広域幹線道路の一部であり、高崎市から伊勢崎間のアクセス性向上及び現道の五料橋付近を中心とした渋滞の解消、並びに交通安全の向上を目的としたバイパス事業である。</p>					
全体事業費	90億円（暫定2車線）		計画交通量	14,200台/日（暫定2車線）	
<p>事業概要図</p>					

関係する地方公共団体等の意見

関係市町村で構成する広域幹線道路建設促進協議会（会長 伊勢崎市長）等より、毎年、国道354号のバイパス化の要望が出されている。

事業採択の前提条件

費用対便益：便益が費用を上回っている。
手続きの完了：都市計画決定済

事業評価結果

費用対便益	B/C	3.4	総費用：72億円 （事業費：70億円 維持管理費：2億円）	総便益：245億円 （走行時間短縮便益：234億円 走行経費減少便益：11億円 交通事故減少便益：0.14億円）	基準年：平成19年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C= (交通量 %)	B/C= (交通量 %)	
		事業費変動	B/C= (事業費 %)	B/C= (事業費 %)	
		事業期間変動	B/C= (事業期間 %)	B/C= (事業期間 %)	
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠	
		渋滞対策	○	渋滞長、通過時間の改善 【渋滞長の改善】朝夕の通勤時の渋滞解消が図られる。 【渋滞度曲線】群馬県センサス区間の上位2割に含まれる。（6万人時間/年km）	
		事故対策	○	【死傷事故率】409/億台km（死傷事故率比（県内平均比）9.675） 【その他の特徴】渋滞が原因で起こる事故等の防止が見込まれる。	
		歩行空間	○	バイパス整備することにより歩道も設置され、歩行者・自転車の安全性が向上する	
	社会全体への影響	住民生活	○	バイパスを整備することで交通の分散が見込まれ、現道部の渋滞緩和が図られる。	
		地域経済	○	高崎市から伊勢崎間のアクセス向上が図られる。	
		災害	-	注目すべき影響はない。	
		環境	-	注目すべき影響はない	
地域社会	○	高崎市と伊勢崎を結ぶ新たな日常生活圏を形成することが出来る。			
事業実施環境	○	都市計画決定済。			

採択の理由

費用便益比が3.4と便益が費用を上回っているとともに、都市計画手続きが完了していることから、事業採択の前提条件が確認できる。

また、現道部の渋滞、通過時間の遅れは地域の大きな負担となっており、事業実施による改善効果が期待できることに加え、高崎市から伊勢崎間の交通連携強化及びアクセス向上が図れることから事業効果は高いと判断される。さらに、当該路線と関越自動車道との交差点部にスマートICの計画もあり、高速交通網へのアクセス性の向上も期待できる。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。